

Techno-Ocean 2025展示会のご案内（入場無料）

11月27日（木）～ 29日（土） 場所：神戸国際展示場2号館1階 コンベンションホール

開場時間：11月27日（木） 9：00～17：00
11月28日（金） 10：00～17：00
11月29日（土） 10：00～16：00

出展者（94社・団体）

出展者一覧はこちらから <https://to2025.techno-ocean.com/exhibitor/list>

出展者プレゼンテーション

※スケジュール・タイトルは変更となる場合があります。

スケジュールはこちらから https://to2025.techno-ocean.com/doc/ep_jp.pdf

特別セミナー 場所：展示会場内 特設ステージ（オーシャンデッキ）

講演日時	講演タイトル	講演者
11月27日(木) 13:30～14:00	転換期の造船業	海事プレス社 海事プレス共同編集長 対馬 和弘 氏
11月27日(木) 15:10～15:40	総合重工の造船事業再編	日本海事新聞社 編集部記者 五味 宜範 氏
11月28日(金) 11:15～11:45	防衛装備庁における研究開発	防衛装備庁 技術戦略部 技術戦略課長 海江田 達也 氏
11月28日(金) 14:10～14:40	海洋天然水素ポテンシャルとこれからの海洋産業	国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 特任参事 倉本 真一 氏

特別展示

いであ株式会社

ホバリング型AUV
「YOUZAN」



川崎重工業株式会社

多機能型AUV
「SPICE」



日本海工株式会社

アクアドローン
「ロボセン」



株式会社ハマ

飛行艇型無人航空機
ハマドリ6000試作機



Techno-Ocean 2025 水中ロボット競技会 11月29日(土)

詳細はこちらから <https://ton25.underwaterrobonet.org/>

船の一般公開（参加費無料・乗船には展示会場で配布の整理券が必要です）

11月29日（土） 場所：神戸ポートターミナル
（詳細はホームページを必ずご確認ください <https://to2025.techno-ocean.com/>）



気象庁 海洋気象観測船 “凌風丸”

海のようなすや地球の気候を調べる船です。海の表面から深いところまでの水温や海の流れをはかったり、大気や水の中にある二酸化炭素などの気体、また大気中の水蒸気量を調べたりします。これによって、地球温暖化や大雨をもたらす線状降水帯の予測精度向上に役立ちます。



ハイブリッド旅客船 “HANARIA”

地球環境にやさしい水素とバイオ燃料で動く国内初の旅客船です。昨年3月に竣工、同年4月より関門エリアでクルーズを提供中。優れたデザイン・技術が評価され、シップ・オブ・ザ・イヤーとマリンエンジニアリング・オブ・ザ・イヤーを史上初めてダブル受賞しました。

「Techno-Ocean2025」シンポジウムのご案内

2025年11月27日（木）～ 29日（土） 神戸国際展示場2号館 2・3階

<https://to2025.techno-ocean.com/>

主催：テクノオーシャン・ネットワーク



参加登録費：（事前登録）25,000円、（当日登録）35,000円、学生は無料

登録はこちらから <https://to2025.techno-ocean.com/entry/visitor/form/add>

お問合せ

TEL：(078)303-0029 E-mail： techno-ocean@kcva.or.jp
Techno-Ocean 2025実行委員会事務局



開会・基調講演（同時通訳付き）

11月27日（木）9:15～10:50 神戸国際展示場2号館 3A会議室

●開会挨拶

●基調講演

◎(仮)「我が国の海洋政策について～第4期海洋基本計画及び海洋開発等重点戦略について～」
内閣府 総合海洋政策推進事務局長 舟本 浩 氏

◎「経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）の海洋関連の研究推進について」
東京大学名誉教授（K Program プログラム・ディレクター）高木 健 氏

◎ “Offshore wind development and marine planning in Scotland - Lessons learnt”
Mr. Stefan Bengtsson
Asia Pac Regional Director for Inward Investment
Scottish Development International British Embassy Tokyo



“Techno-Ocean Award” “海のフロンティアを拓く岡村健二賞” 授賞式

11月27日（木）10:50～11:40 神戸国際展示場2号館 3A会議室

パネルセッション ～海のSDG s～

※内容は予告なく変更になる場合があります。

11月27日（木）～ 11月28日（金） 神戸国際展示場2号館 2A会議室、3A会議室

●パネルセッション1：海運GXの今とこれから（同時通訳付き）

日 時：11月27日（木）13:00～16:15
場 所：神戸国際展示場2号館 3A会議室



海運のカーボンニュートラルをテーマにアンモニア、水素等の代替燃料利用のための技術開発、実質ゼロエミッションのための方策、カーボンニュートラルポートの形成、法令の整備など山積する課題の方向性についての議論を行う。この問題の解決のためには業種の垣根を超えた海事コミュニティ強化が不可欠であり、その実現のために各界を代表するパネリストにご参加いただき、最新の情報共有、包括的な議論の場を提供する。

◆モデレーター 平田 宏一 氏（国研）海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 所長

◆登壇者

- ・塩入 隆志 氏 国土交通省 海事局 海洋・環境政策課 環境渉外室 室長
- ・堀 貞治 氏 国土交通省 港湾局 産業港湾課 CNP推進室 室長
- ・川北 千春 氏 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 水素・アンモニア部 次世代船舶チーム長
- ・加納 裕真 氏 三菱造船(株) マリッジ・アライアンス センター 環境技術部 開発グループ グループ長
- ・新井 啓人 氏 川崎汽船(株) 環境・技術戦略グループ グループ長
- ・久保 尚子 氏 (一財)運輸総合研究所 研究員
- ・勝井 辰博 氏 神戸大学 海洋底探査センター 教授



パネルセッション ～海のSDG s～

●パネルセッション2：持続可能な水産業のための新たな技術開発への挑戦（同時通訳なし）

日 時：11月27日（木）13:00～16:30
会 場：神戸国際展示場2号館 2A会議室



食料タンパク源確保の観点から、日本の水産業の発展は重要である。漁業・養殖の持続可能な増産は、国内の魚食需要の喚起や輸出産業への貢献につながる。そのためには、DX等の最新技術を用いた水産業の変革が必要である。本セッションでは、最新技術を用いて新たに水産業に参入した企業の取り組みの最新情報を共有するとともに、日本の持続可能な水産業の将来を概観し、今後の成長のあり方について議論する。

- ◆モデレーター 北澤 大輔 氏 東京大学生産技術研究所 大規模実験高度解析推進基盤 教授
◆登壇者
・日向野 純也 氏 (一社)マリノフォーラム21 技監
・藤原 謙 氏 ウミトロン(株) 代表取締役
・二瓶 泰範 氏 大阪公立大学工学研究科 准教授/(株)ロボティクスセーリングラボ 代表取締役
・野城 菜帆 氏 株式会社MizLinux 代表取締役

●パネルセッション3：海洋人材育成と獲得のためのリスクリシシステムの構築（同時通訳なし）

日 時：11月28日（金）9:00～11:30
場 所：神戸国際展示場2号館 3A会議室



海洋・海事産業の成長には、海事系人材の定着化に加え、異分野からの人材流入とリスクリシ教育を含む育成体制の整備が不可欠である。さらに、現場作業員からマネジメント層や研究者などの高度専門人材まで多層的な育成が求められ、DX化に伴う人材配置転換も重要な課題である。本セッションでは、「海洋人材」を軸に、産業の魅力や社会的認知の向上も踏まえながら、持続可能な人材獲得・育成システムのあり方について議論する。

- ◆モデレーター 村井 基彦 氏 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 人工環境と情報部門 教授
◆登壇者
・大和 裕幸 氏 (国研) 海洋研究開発機構 理事長
・市原 盛雄 氏 (国研) 海洋研究開発機構 海洋STEAM推進課 課長
・野城 菜帆 氏 (株)MizLinux 代表取締役
・川北 千春 氏 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 水素・アンモニア部 次世代船舶チーム長
・吉賀 智司 氏 (株) FullDepth 代表取締役社長
・河村 光寛 氏 海洋産業タスクフォースWG07 グループリーダー/(一財)エソニア協会 海洋開発部長

●パネルセッション4：自律運航船と海上通信網がもたらす海事イノベーション（同時通訳付き）

日 時：11月28日（金）9:00～12:00
場 所：神戸国際展示場2号館 2A会議室



国内外で自律運航船の研究開発が加速している。同時に海上通信網の整備や低コスト化が進んでおり、両者を組み合わせた海上輸送の技術革新や次世代物流サービスの実現に期待が寄せられている。本セッションでは、自律運航船や遠隔オペレーションの動向、海上通信網の利用に関する最新の事例紹介を行う。そのうえで、海事イノベーションの実現に向けて、自律運航船の未来、海上通信網の活用、GXとの連携、新たな海上輸送システムの創生などについて議論する。

- ◆モデレーター 橋本 博公 氏 大阪公立大学大学院 工学研究科 教授
◆登壇者
・山田 智章 氏 (一財)日本海事協会 開発本部 技術研究所 主管
・原 裕一 氏 古野電気(株) 船用機器事業部 開発設計統括部 自律航行システム開発部 部長
・横山 智彰 氏 (株)エイトノット 取締役CTO
・近藤 博元 氏 東洋漁業(株)・兼井物産(株) 監査部門 監査役
・橋本 博公 氏 大阪公立大学大学院 工学研究科 教授
・村井 康二 氏 東京海洋大学 学術研究院 海事システム工学部門 教授

パネルセッション ～海のSDG s～

●パネルセッション5：浮体式洋上風力発電の展望（同時通訳付き）

日 時：11月28日（金）13:00～16:40
場 所：神戸国際展示場2号館 3A会議室



日本の洋上風力発電開発は2040年までに最大で45GW、うち15GWを浮体式での案件形成を目標とした。これを達成するために国の行政は部門横断での情報共有と方針作成が進んでいる。民間企業においても事業展開や施工・設置技術開発のための共同体が組織された。日本の現状を広く共有するとともに、様々な立場から意見を出し合う機会を設けるのが本パネルセッションの目的である。さらに、海外事情の実際を紹介しながら、日本の今後の開発戦略を議論する。

- ◆モデレーター 居駒 知樹 氏 日本大学 理工学部 海洋建築工学科 教授
◆登壇者
・織田 洋一 氏 長崎大学 海洋未来イノベーション機構 客員コーディネーター
・福岡 功慶 氏 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課 風力事業推進室長
・馬場 智 氏 国土交通省 港湾局 海洋・環境課長
・加藤 訓章 氏 国土交通省 海事局 海洋・環境政策課 技術企画室長
・寺崎 正勝 氏 浮体式洋上風力技術研究組合 (FLOWRA) 理事長
・野口 哲史 氏 浮体式洋上風力建設システム技術研究組合 (FLOWCON) 理事長
・Mr. Stefan Bengtsson
Asia Pac Regional Director for Inward Investment
Scottish Development International British Embassy Tokyo

●パネルセッション6：日本の資源・エネルギー開発に資する海洋ロボティクス（同時通訳付き）

日 時：11月28日（金）13:00～17:00
場 所：神戸国際展示場2号館 2A会議室



本セッションでは、第3期戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「海洋安全保障プラットフォームの構築」の進捗と今後の展望について概観する。また、今後ニーズの増大が予想される洋上風力発電施設等、海洋構造物の点検に活用できる無人機について、開発者、ユーザの両サイドからのビジョン・要請を共有する。最後に、今後の海洋ロボティクス開発に関する国内対応、人材育成に関する必要な方向性、取り組み等に関してパネルディスカッションを通じて議論を行う。

- ◆モデレーター 巻 俊宏 氏 東京大学生産技術研究所 准教授
藤原 敏文 氏 (国研)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 研究統括監
◆登壇者
・石井 正一 氏 内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期「海洋安全保障プラットフォームの構築」プログラムディレクター
・藤原 敏文 氏 (国研)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 研究統括監
・牧 武志 氏 (国研)海洋研究開発機構 経営企画部 未来戦略課 課長
・巻 俊宏 氏 東京大学生産技術研究所 准教授
・吉賀 智司 氏 (株)FullDepth 代表取締役社長
・山野辺 傑 氏 三井住友海上火災保険(株) 船舶航空営業部 海洋エネルギー室 課長
・佐藤 弘志 氏 海洋産業タスクフォース 運営委員会 副委員長



前回 Techno-Ocean 2023開催の様子

※内容は予告なく変更になる場合があります。